

看護職員の確保対策について、当院においても新入の確保は年々困難を極めていきます。部長が中四国及び近畿方面の看護大学、看護学校、近隣の高校へと進学・就職案内に廻っています。が、若い人たちにどうアピールして「働きたいな」という意欲を持ってもらえるか、魅力ある職場を提供するには何を基に環境作りをしていけばいいのか、現実問題として大変です。

自分たちが看護師として働き始めた頃とは女性のライフステージから違っており、職業意識の在り方も様々です。せっかく働かだしても、資格を生かしてライフワークとして重要だと認識できる環境を見出さなければ



看護部懇談会に参加して

三原赤十字病院従業員組合



看護部懇談会にむかいます。病院で就労する人的資源の確保は年々困難を極めていきます。部長が中四国及び近畿方面の看護大学、看護学校、近隣の高校へと進学・就職案内に廻っています。が、若い人たちにどうアピールして「働きたいな」という意欲を持ってもらえるか、魅力ある職場を提供するには何を基に環境作りをしていけばいいのか、現実問題として大変です。

自分たちが看護師として働き始めた頃とは女性のライフステージから違っており、職業意識の在り方も様々です。せっかく働かだしても、資格を生かしてライフワークとして重要だと認識できる環境を見出さなければ

り、病院の中心、いわば心臓部なので、自分のキャリアにもっと誇りを持ってほしいと思います。若手にも繋がります。過酷な勤務体制で労働環境も施設間でかなりの格差があります。それが、頑張っているのですから、それに見合うだけの働く側の権利を手に見ようという意識が、新卒として入社していき、新卒としての役割を担います。個々の基準を全て統一することはできませんが、今回各フロアから出た意見や事前のメール交換で出されてきた各位の意見を無駄にせず、一番良い方向で問題を解決していきましょう。

個人で興味を持つ研修に参加できるよう、みんなが協力し合って支える環境をつくり、取り残されないように自分を主張することも必要だと思います。専門職としての労働環境を整えることで、人材確保やよい医療の提供に結びついていくものと考えます。

【本部より】
看護部懇談会に向けた今後の活動について
看護部懇談会に向けて、さらに意見の充実を図るために、早い時期からメールでの意見交換をしていきたいと思います。

今後の予定として、意見交換は二月頃から五月の女性部会まで行い、部会で新卒としての意見集約をして、さらに懇談会参加者の意見統一を図るために、懇談会までメールを活用してディスカッションしていきたいと考えています。

日赤新卒の皆様には、昨年度の豪雪災害に対する私たちの思いを労働組合として取り上げて頂き、有り難うございます。

飯山日赤は、長野県の北端地域において唯一の総合病院として医療活動を行っています。最近では映画「阿弥陀堂だより」のロケ地になりました。四季の美しさ、良いとこ盛りでご覧いただけると幸いです。

さて、日本有数の豪雪地帯で暮らす私たちに、除雪は毎冬の当たり前の作業です。私の自宅はほぼ平均の積雪ですが、それでも除雪には機械を使って二〇分程かかります。屋根の雪は自然落下式なので、降るす手間はありますが、休日には四時間程度除雪を行います。

一昨年も大雪でしたが、シーズンに四回程度の除雪で済みました。ところが昨

北から南から

誰が言った!?! 寒いのはどこも一緒?

— 飯山赤十字病院職員組合 —

年は第三回中央委員会(尾道開催)切りから降り続いた雪で、あっという間に家が埋まってしまいました。十九時に帰宅し、夕食後から深夜〇時頃までの除雪作業が毎日のように続き、朝も真っ暗なうちに起床し、玄関前の除雪です。酷使のせいで機械をタメにしていまい、全くの手作業になった時は、「このままでは死んでしまう」とさえ思いました。

単組の団交において、施設側の本社へのアピールを問うたところ、「災害では施設でも多額の損害を被っています、本社へも損害補助の検討を打診しているが、相手してくれない」という厳しい答えでした。そこ

で、施設、組合双方から継続して本社へ訴えていくことを確認しました。

この問題は、日赤本社の災害に対する意識、認識の問題であり、大変重要なことと考えます。雪の問題は、全国的にも風

私たちが安心して生活し、働ける日赤であるように、皆さん、これからも訴え続けましょう。

(執行委員長・大月 肇)



新人組合員研修会
ストレッチに汗流す

岡山赤十字病院従業員組合

十月二十八日・二十九日、それほど激しい運動をしないのに、第五フロア新人研修会が岡山県建設部町の「たけの森」で行われました。奥から毒素を排出しているのを感じました。

続いて、専属のドクターから健康的な美しさや正しいダイエットについての話を聞きました。ダイエットと健康の関係について、ストレッチを用いてわかりやすく説明していただきました。夕食は、管理栄養士の方から栄養計算をしたディナーをいただきました。

夜は三班に別れて、「職場で困っていること」をテーマとしたミーティングを行いました。いつも思っていることもなかなか言えないことや、他の職場ではどのようなことか、活発な意見交換が出来たと思います。また、組合というの



ウォーキングの仕方を指導していただきましたが、歩き方だけでも周りの人に与える印象が大きく違うことに気づきました。

朝食の後は、組合についての講義と栄養指導講座が行われました。組合についての講義は難しい話かと思いましたが、組合の歴史や用語、給与等の説明があった後、チーム対抗でのクイズ形式で職場の労働問題について勉強しました。また、チーム対抗ということでお互いの考えを話しながら答えを出すうちに、連帯感も生まれました。

この研修に参加するまでは組合というものがどういうもので、どういった役割を持つものか知らず、自分とはあまり関わりないと思っていました。しかし、私たちにとても近い存在であり、一人ひとりが組合の一員だということをもっと自覚して今後参加をしていければいいなと思いました。

今回の研修は体を動かしたりグループで活動したり

(診療放射線技師・中曾 智佳)

●●● Welcome ●●●

リニューアルした
日赤新労ホームページへようこそ!

<http://www.shinro.org/>